
第143回 学長定例記者会見

日時：令和4年3月24日（木）11：00～11：30

場所：広島大学 霞キャンパス 臨床管理棟3階 大会議室

※ テレビ会議システムによる配信は行わない

※ YouTubeによる録画配信を実施

○ 越智学長が「広島大学ヘルシーキャンパス宣言」を行います

【発表事項】

1. 広島大学病院に3つの寄附講座と1つのグローバル共同研究講座を設置します

2. 2022年度教養教育「世界に羽ばたく。教養の力」を4月～6月に実施します

■ 次回の学長定例記者会見（予定）

日時： 令和4年4月下旬

場所： 広島大学 東広島キャンパス

令和 4 年 3 月 24 日

ヘルシーキャンパス宣言の趣旨、概要について

昨今のコロナ禍など、大学として、構成員のこころと身体の健康を守ることの重要性は、益々増大しています。本学では、DX 推進基本計画を令和 3 年 1 月に策定し、これに基づき、健康データ利活用ポリシー及び健康データ管理ポリシーを策定し、保健管理センター等と連携して構成員の健康管理や個別相談等にデジタルを積極的に活用することとしています。

以上を踏まえ、広島大学は、ヘルシーキャンパス宣言を行います。

また、宣言にあわせてヘルシーキャンパスプロジェクトに取り組み、この取り組みを通じて、構成員のこころと身体の健康を守ることにより、組織全体としてのパフォーマンスの向上を図り、教育や研究をより一層推進します。

ヘルシーキャンパスプロジェクトでは、本学と株式会社 OKEIOS が共同で開発したスマホアプリ「みらい健康手帳」などを活用し、以下の特徴的な取り組みを行います。

- ①これまでのヘルシーキャンパス実践は「ウォーキングイベント」「ヘルシーランチ」「スポーツ」「禁煙」「健康診断普及」といった“身体”の健康に重きが置かれていたが、“心”にも重点を置く。
- ②広島大学 DX 推進基本計画に基づき、デジタルを活用した新しい実践を行う。
- ③心身の不調の支援はもとより、予防に焦点をあてた研究・実践を戦略的に行う。

また、広島大学マスコットキャラクター「ひろティー」のヘルシーキャンパス宣言「ココロ」と「カラダ」バージョンとともにヘルシーキャンパスプロジェクトを推進します。ココロは「広大なこころ」、カラダは「広大からだ！」の意を表したいと存じます。

【お問い合わせ先】

教育室教育部
教育支援グループ 角田 明（スミタ アキラ）
TEL:082-424-6151
E-mail:kyoiku-gl@office.hiroshima-u.ac.jp



広島大学ヘルシーキャンパス宣言

Hiroshima University's Healthy Campus Declaration

1. 大学における教育・研究・社会貢献活動の基盤として、学生・教職員の「心身の健康」を守ります。心身の健康増進により元気に学び・働く環境の向上を図り、教育・研究を一層推進します。

At Hiroshima University, we strive to protect the “physical and mental health” of students, faculty and staff as the foundation of all of our education, research and social contribution activities. To this end, we will improve the learning and working environment by promoting physical and mental health, which will in turn enhance education and research.

2. 「心身の健康」の研究を進めるとともに、予防の実践と健康増進を支援します。研究成果を社会に還元し、エビデンスに基づいた予防対策、予防教育などの実践を発展させていきます。

We will advance research on physical and mental health, and support the practice of preventative healthcare and the promotion of better health. Moreover, we will contribute our research results to society and develop evidence-based preventive measures and education.

3. 「心身の健康」を考え、大切にする文化を社会に発信し広げていきます。実践や研究で得られた情報を発信し、学生・教職員のみならず、地域等に応用できるよう、社会に貢献していきます。

We will disseminate information in order to broaden the culture of considering and respecting both physical and mental health. Furthermore, by disseminating information obtained through our practice and research to the wider community, we will not limit our resources to members of the university, but will contribute to society at large.

広島大学DX推進基本計画を踏まえたヘルシーキャンパス宣言

背景・目的

従来から大学保健管理における活動はヘルシーキャンパスに向けたものであったが、学生や教職員の健康を守ることが大学の使命と捉え、全学的な取り組みを行うことの重要性が注目された。2017年に京都大学、2018年に長崎大学などが、ヘルシーキャンパス宣言を行い、2020年には全国大学保健管理協会としてヘルシーキャンパス宣言を行っている。

これまでに全国で7大学がヘルシーキャンパス宣言を行っており、昨今のコロナ禍など、大学として、構成員のこころと身体の健康を守ることの重要性は、増大している。

本学では、令和3年1月に広島大学DX推進基本計画を策定し、構成員の健康管理のデジタル化を推進することとしている。**DX推進基本計画に基づき、健康データ利活用ポリシー及び健康データ管理ポリシーを策定し、保健管理センター等と連携して構成員の健康管理や個別相談等にデジタルを積極的に活用する。**

これらを踏まえ、**本学としてもヘルシーキャンパス宣言を行い、ヘルシーキャンパスプロジェクトを通じて、構成員のこころと身体の健康を守る**ことにより、組織全体としてのパフォーマンスの向上を図り、教育や研究をより一層推進する。

広島大学DX推進基本計画

令和2～4年度版

教育・学習データの活用と教育コンテンツのデジタル化

様々な学習データが蓄積されつつある。これらを、学習者へ効果的にフィードバックすることや教育方法の改善に活用するなど、教育改善のために活用するため、教育・学習データのデジタルプラットフォームを構築し、全学的な取組みとして活用を推進する。また、対話的な教材やVRを活用した教材などデジタル化の特徴を活かした優れた教育コンテンツを作成し、学内外での活用も目指し、これまでの大学教育の形態を抜本的に見直すことで教育改善につなげる。

研究データ管理

研究の確実な積み上げと再現性のために研究データを研究過程の段階ごとに適切に保存・管理し、必要に応じて提示することも求められている。また、オープンサイエンス推進のため、他者が生成した研究データを利用することも増えている。そこで、本学の全研究者が利用する研究データ管理のためのデジタルプラットフォームを構築し、活用を推進する。

DX推進基本計画期間中(令和2～4年度)に優先して実施する全学的な重要事項

構成員の健康管理のデジタル化

スマートフォン向けアプリとして「健康手帳」機能を開発し、保健管理センター等と連携して本学構成員の健康管理や個別相談等に活用する。

大学IRデータ分析

全教員等が直接IRデータを確認・分析可能なシステムを構築し、IRデータの精度の向上を図ると共に、執行部や部局長等による多面的な分析を可能とし、IRデータ活用機会の増加を推進する。

事務業務の事業継続と高度化

電子決裁と決裁文書のデジタル化、各種申請のオンライン化、事務文書のペーパーレス化等によりテレワーク及びフリーアドレスオフィスに対応する。

取り組みの特徴及び期待される効果

取り組みの特徴

①これまでのヘルシーキャンパス実践は「ウォーキングイベント」「ヘルシーランチ」「スポーツ」「禁煙」「健康診断普及」といった“身体”健康に重きが置かれていたが、“心”にも重点を置く。

②広島大学DX推進基本計画に基づき、デジタルを活用した新しい実践を行う。

③心身の不調の支援はもとより、予防に焦点をあてた研究・実践を戦略的に行う。

具体的な取り組み例 1)

デジタルを活用することにより、随時学生や教職員が自身のメンタルヘルスチェック(うつ、睡眠など)を可能にし、一定点数より高い場合にはアラート機能も提供する。

多少高めの方には対処方法を、かなり高い方には相談や受診場所などの情報提供を行う。

具体的な取り組み例 2)

自殺予防のための啓発(援助希求行動の促進、メンタルヘルスリテラシーの向上)をオンラインで行う。

期待される効果

- * 宣言することにより、組織全体として、学生・教職員が社会で活躍する礎となる健康を守るというメッセージを発信する。
- * こころと身体の健康を守るというSDGs 推進に向けた取り組みとなる。
- * もっとも深刻な問題である自殺予防につながる。
- * 大学における教育の効果、研究力の向上、学生の休退学(者)や教職員の休退職(者)の減少につながる。
- * 心身の健康に関する研究や実践を社会に発信することにより社会貢献となる。

ヘルシーキャンパスプロジェクト

ココロ

メンタルヘルスセルフケア
ストレス対処

予防・早期支援
気分・睡眠のモニタリング
支援アクセス
メンタルヘルスリテラシー教育

メンタルサポート
認知行動療法
コミュニケーションスキル

保健管理センター・研究科など

からだ

ヘルスマネジメント
健康診断・食と健康・生活習慣
疾病予防・禁煙対策など
(保健管理センター・研究科など)

ヘルスプロモーション
スポーツセミナー・イベント
福利厚生プログラム(スポーツセンター)

研究

ココロとからだの健康に
関する研究
(各研究科・保健管理センター)

DX化
デジタルの活用による推進

学生・教職員のトータル・ヘルスプロモーション

地域への情報発信・応用・社会貢献へ

広島大学キャラクター/ひろティー ヘルシーキャンパス宣言



「ココロ」バージョン

広島大学キャラクター/ひろティー ヘルシーキャンパス宣言



「カラダ」バージョン

スマホアプリ「みらい健康手帳」開発

2018年～

2020年～

2022年

AI/IOT実証プラットフォーム事業

情報管理と情報信託機能を付与した情報流通基盤構築



広島大学ヘルシーキャンパス宣言

ひろしまサンドボックス事業において、「個人データを安全に連携し、健康で100歳を迎えられる社会」を目指し、医学の発展に貢献するものとしてPHRを安全に管理するプラットフォームの構築を進めてきた。

COISTREAM事業において、感性脳科学のエッセンスを導入。「からだ」だけでなく、「こころ」の健康増進に貢献する機能を実装し、アプリのUIも変更。

2022年度下半期～
"メンタルチェック"機能を実装予定
Well-Being貢献へ

ひろしまサンドボックス事業において健康増進を目指し、広島大学と株式会社OKEIOSが共同で開発したスマホアプリ「みらい健康手帳」に、感性COI拠点の研究成果を盛り込むことで、「こころ」と「からだ」の健康増進に貢献できるアプリへ

1

スマホアプリ「みらい健康手帳」でできること

セルフ
チェック



体調、生活習慣病、メンタルヘルス等に関して、広島大学・広島大学病院監修のセルフチェックが可能です。

拡張機能
(開発中)



(法人、自治体向け) 企業の健康経営、自治体の健康増進など、組織の構成員の「こころ」と「からだ」を一元管理するための拡張機能があります。

健康情報
の閲覧



日々入力したPHRデータについて、ダッシュボード上でわかりやすく表示。目的に応じグラフ化して確認できます。データは、連携機器から自動で入力可能。

安心
安全



あなたのPHRデータはブロックチェーン技術と秘密分散ストレージ技術によって安全に守られます。

日々の記録から自分の状態に“気づく”ことで、Well-Beingにつながる健康習慣が身につきます

2

令和 4 年 3 月 24 日

広島大学病院に 3 つの寄附講座と
1 つのグローバル共同研究講座を設置します

広島大学病院は、令和 4 年 4 月 1 日付で 3 つの寄附講座と 1 つの共同研究講座を設置します。

1) 寄附講座「地域創生運動器再生医療講座」

愛媛県八幡浜市の市立八幡浜病院は同市と佐多岬半島の伊方町で構成する八西（はっせい）地域の中核・基幹病院として地域医療に貢献しています。その中で整形外科領域は、高齢者が多いこともあり外傷による四肢骨折・脱臼、靭帯損傷などの急性疾患、変形性関節症、関節リウマチ、脊椎脊髄疾患といった慢性疾患なども目立っています。若年者のスポーツ外傷・障害に対する治療にも積極的に取り組むほか、慢性疾患のうち変形性関節症に対する人工股関節・膝関節置換術に特に力を入れています。この分野で先進的な治療を行っている当院と連携を深めることにより、さらなる整形外科領域の診療レベル向上が期待できます。

<当該寄附講座の概要>

- ・設置年月日 令和 4 年 4 月 1 日
（期間） 令和 4 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日
- ・寄付者 愛媛県八幡浜市 大城一郎市長
- ・寄付金額 総額 6,900 万円
- ・担当教員及び職名 三藤 建志 寄附講座教授
林 聖樹 寄附講座准教授

2) 寄附講座「広島中央地域・小児周産期医療支援講座」

東広島市は広島大学が立地し、国際学術研究都市として共に発展し、現在では、大学と市が一体とり連携協力したまちづくりを進めています。市は「市民が安心して適正な医療を受けられるような医療サービスが充実することを目指す」としており、令和 3 年 10 月に、寄附講座「広島中央地域医療・侵襲制御医学講座」を設置し、広島中央医療圏の急性期中核病院である国立病院機構東広島医療センターに、麻酔科医を派遣しています。さらに小児科及び産婦人科領域での連携を進める今回の寄附講座設置で広島中央地域の総合的な医療体制の確立に向けた取り組みへの貢献が期待されています。これにより、小児科、産婦人科の医師を東広島医療センターに派遣します。

<当該寄附講座の概要>

- ・設置年月日 令和 4 年 4 月 1 日
（期間） 令和 4 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日

- ・ 寄付者 東広島市 高垣廣徳市長
- ・ 寄付金額 総額 6, 600万円
- ・ 担当教員及び職名 下田 浩子 寄附講座教授
坂田 園子 寄附講座助教
佐藤 優季 寄附講座助教

3) 寄附講座「消化器内視鏡医学講座」

福島県南相馬市からの要請を受け、同市にある「南相馬市立総合病院」に医師を派遣し診療にあたるとともに研究も進め、安心・安全を提供する社会基盤としての医療を支援します。南相馬市立総合病院は、福島県の東部、太平洋の沿岸部「浜通り」に位置し、南相馬市を含む2市2町村の「相馬地域」と東京電力福島第一原発が立地する大熊町・双葉町を含む8町村の「双葉地域」から構成される相双地区の中核基幹病院です。今回の寄附講座は、南相馬市立総合病院と消化器内視鏡医学領域の連携を深めることにより、相双地区の医療体制の確立への取り組みを支援します。東日本大震災から11年、避難住民の帰還を進め、生産年齢人口・出生数の回復につなげるなど復興への後押しが期待されています。

<当該寄附講座の概要>

- ・ 設置年月日 令和4年4月1日
(期間) 令和4年4月1日～令和9年3月31日
- ・ 寄付者 福島県南相馬市 門馬 和夫市長
- ・ 寄付金額 総額 1億4, 682万円
- ・ 担当教員及び職名 ト部 祐司 寄附講座准教授
谷野 文昭 寄附講座助教

1) 共同研究講座「インドネシア医療関連共同研究講座」

インドネシアにおける医療水準の向上及び人材育成を目指し、現地の医療状況の正確な把握と具体策について調査します。広島大学が推進するDX対応のインドネシア医療業界への適用可能性を調べ、医療における健康・医療等データ利活用に向けた研究を進めます。これらを基にインドネシアにおける電子カルテシステムの開発・普及、健康データを用いた健康管理システムの構築、看護師や医療技術従事者に対する教育・トレーニングなどを進めていきます。

<当該共同講座の概要>

- ・ 設置年月日 令和4年4月1日
(期間) 令和4年4月1日～令和7年3月31日
- ・ 外部機関 インドネシア住友商事会社
- ・ 経費金額 1億6, 316万円
- ・ 担当教員及び職名 桑 直人 共同研究講座教授
松本 彰紘 共同研究講座助教

【お問い合わせ先】

大学病院広報・調査担当役 古市
TEL: 082-257-5418

令和4年3月24日

**2022年度教養教育「世界に羽ばたく。教養の力」を
4月～6月に実施します**

広島大学は、全学部の新入生を対象として、スポーツ、芸術、科学、ビジネスなど世界で活躍されているリーダーをお招きし、ご自身の学生時代や、困難を乗り越えた経験などを語っていただく「世界に羽ばたく。教養の力」を、2017年度から実施し、全学部の新入生が必ず2回聴講することになっております。

2022年度の講師陣は、ノンフィクション作家の堀川恵子氏、総合地球環境学研究所所長の山極壽一氏、フューチャー株式会社代表取締役会長兼社長の金丸恭文氏、危機管理専門家・航空評論家の小林宏之氏その他、これまでもご講演いただいた、国際ジャーナリストのモーリー・ロバートソン氏、東京大学教授の池谷裕二氏、漫画家の弘兼憲史氏、スポーツジャーナリストの二宮清純氏、脳科学者の茂木健一郎氏、オペラ歌手の中丸三千繪氏、広島東洋カープ元監督の野村謙二郎氏、といった多彩な顔ぶれを予定しています。

世界で活躍するリーダーたちが、どのような学生時代を過ごし、困難を乗り越えたのか。学生たちに、間近で生きざまやスピリッツに触れてもらい、ワクワクする何かをつかんでもらうことを期待しています。

なお、開催日程、取材可否につきましては、別紙をご参照ください。

【お問い合わせ先】

教育室
教育部教育推進グループ 副グループリーダー 京下
TEL:082-424-7134

2022年度 教養教育「世界に羽ばたく。教養の力」

※職名等は2022年3月24日時点のもの

No	講演日時	講師(敬称略)	職名等	キャンパス	教室	取材可否
1	4/20(水)10:30-12:00	モーリー・ロバートソン	国際ジャーナリスト	東広島	サタケメモリアルホール	要事前連絡
2	4/22(金)10:30-12:00	池谷 裕二	東京大学大学院薬学系研究科 教授	東千田	東千田未来創生センター M401/402	要事前連絡
3	4/26(火)18:00-19:30	弘兼 憲史	漫画家	東千田	東千田未来創生センター グループワーク室	要事前連絡
4	4/27(水)14:35-16:05	堀川 恵子	ノンフィクション作家	東広島	サタケメモリアルホール	要事前連絡
5	5/11(水)10:30-12:00	山極 壽一	総合地球環境学研究所 所長 京都大学前総長	東広島	サタケメモリアルホール	要事前連絡
6	5/12(木)14:35-16:05	金丸 恭文	フューチャー株式会社 代表取締役会長兼社長 グループCEO	東広島	サタケメモリアルホール	要事前連絡
7	5/13(金)10:30-12:00	二宮 清純	スポーツジャーナリスト	東千田	東千田未来創生センター M401/402	要事前連絡
8	5/19(木)14:35-16:05	茂木 健一郎	脳科学者	東広島	サタケメモリアルホール	要事前連絡
9	5/25(水)10:30-12:00	中丸 三千繪	オペラ歌手	東広島	サタケメモリアルホール	要事前連絡
10	5/25(水)14:35-16:05	小林 宏之	危機管理専門家・航空評論家 (元日本航空機長)	東広島	サタケメモリアルホール	要事前連絡
11	5/31(火)18:00-19:30	越智 光夫	広島大学長	東千田	東千田未来創生センター グループワーク室	要事前連絡
12	6/1(水)10:30-12:00	野村 謙二郎	野球評論家 広島東洋カープ 元監督	東広島	サタケメモリアルホール	要事前連絡